

横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

記 者 発 表 資 料
平 成 2 2 年 8 月 1 0 日
こども青少年局こども家庭課長
阿 部 隆 康 Tel 6 7 1 - 2 3 6 4

児童虐待による重篤事例等検証委員会 第1回の開催について

港北区で起きた児童虐待による死亡事例について、外部有識者等による検証を行い、問題点を明らかにするとともに、今後の再発防止を図ります。ついては、標記委員会の第1回日程が決定しましたのでお知らせいたします。

会議は非公開で開催となりますが、第1回の冒頭に行いますこども青少年局長の挨拶までは、取材可能といたします。

1 検証事例（港北区で起きた死亡事例）

平成21年12月19日（土）、実母（21歳）と同居男性（37歳）と暮らす当時1歳の次女が窒息死した事件。次女を木箱に入れたことによる酸素不足からの窒息死として、平成22年7月24日（土）、実母と男性が監禁致死容疑で逮捕されました。

2 検証委員会委員

飯島 奈津子（横浜弁護士会 弁護士）
大森 武（湘南病院 医師）
新保^{しんぼ} 幸男（神奈川県立保健福祉大学 教授）
永井 恒雄（横浜市主任児童委員連絡会 副代表）
中板 育美（国立保健医療科学院 主任研究官）

3 第1回検証委員会について

日時：平成22年8月13日（金）10時から12時
場所：関内駅前第一ビル 2階 202 特別会議室
中区真砂町2-12（JR「関内」駅 南口下車徒歩3分）
議題：検証手法・スケジュールの確認、事例概要について

2回目以降、具体的な検証を実施し、年度内に報告書をまとめます。
（4～5回開催予定）

* 「児童虐待による重篤事例等検証委員会」

平成20年4月に改正された「児童虐待の防止等に関する法律」により、児童が重大な被害を受けた虐待事例の分析・検証が地方公共団体の責務とされました。横浜市では、平成20年に「児童虐待による重篤事例等検証委員会」（非公開）を設置し、児童相談所又は区役所が関わっていた虐待による死亡事例については、すべてこの検証委員会で検証することとしています。検証委員会は、平成19年に起こった死亡事例をモデルとして、平成20年度に検証を実施しました。